

平成 31 年度 給水装置工事技術に関する
調査研究助成募集要項

1. 助成の趣旨

給水装置工事技術に関する調査研究助成事業は、公益財団法人給水工事技術振興財団（以下「財団」という。）が、給水装置工事技術に関する調査研究に対し、助成を行い、もって給水装置工事に関する技術の開発、向上及び普及等に寄与することを目的としています。

2. 助成対象とする調査研究

- (1) 給水装置工事に関する技術の開発、向上及び普及等に寄与する調査研究。
- (2) 前年度助成対象とした調査研究課題であって、引続き調査研究を行うために助成の申請をすることもできます。その場合は、前年度の報告書と当年度の申請書を提出していただき、年度ごとに審査の対象とします。

3. 応募資格

助成対象者が、大学、水道事業者、研究機関及び関係団体等に所属している個人及び研究グループとします。

4. 助成金の金額

助成額は、年度毎、一件当たり 50 万円を限度とします。ただし、他の機関から助成又は補助がある調査研究は、総予算額から他の機関からの助成又は補助の額を差引いたとき、その額が 50 万円を超える場合は 50 万円、超えない場合はその額を限度とします。

5. 調査研究期間

- (1) 調査研究期間は、原則として助成の決定を通知した日から当該年度の末日までとします。

6. 調査研究の報告の義務及び公表

- (1) 助成を受けた個人及び研究グループは、助成期間終了後、翌年度の 4 月末までに、「調査研究報告書」及び「助成収支明細書」を理事長あてに提出していただきます。「調査研究報告書」は、和文（標題、要旨、本文）A 4 判横書きとし、報告書本文（図表を含む。）は 6 頁以内とし、1 頁当たり 1,400 字（横 40 字、縦 35 行）とします。「助成収支明細書」の様式は、助成決定後財団から送付します。

なお、当該調査研究報告書は、財団機関誌に掲載し、公表いたしますので、予めご

了承下さい。

- (2) 助成を受けた個人及び研究グループは、調査研究期間内において財団が進捗状況の報告を求めた場合は、調査研究の進捗状況の報告をして下さい。
- (3) 調査研究成果の公表は、助成を受けた個人及び研究グループの自由とします。ただし、公表に当たっては、財団の助成を受けていることを明記して下さい。

7. 助成金の返納

助成を受けた調査研究が、中止または継続不能となった場合あるいは期限までに報告書の提出がない場合は、助成金の全部または残りを返納していただく場合があります。

8. 助成の採否等の決定および通知

助成の採否及び助成額の決定は、財団の「調査研究課題選考委員会」において厳正に審査し、高い評価を得た調査、研究から若干数選考いたします。また、助成の採否の結果は5月中旬に助成申請の代表者に文書にて通知し、ホームページに掲載します。

9. 応募方法

添付の様式1の申請書（別添1, 2, 3含む）に必要事項を記入し、捺印の上、下記送付先までお送りください。

10. 応募締切日

平成31年4月10日（水）必着

11. 申請書の送付先

〒163-0712 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号

小田急第一生命ビル12階

公益財団法人 給水工事技術振興財団 技術開発部

事務局：林

電話：03-6911-2711 音声案内3 FAX：03-6911-2716